

Profile

Takashi Iwai
株式会社ヒノキ工芸

1985年生まれ。埼玉県立所沢中央高校、埼玉県立飯能高等技術専門学校(現・川越高等技術専門学校)木工工芸科卒業。特注家具を中心に木製製品を製作するヒノキ工芸に入社。8年目の中堅として特注家具などをつくらしている。

スイッチの入った
あの時

じぶん
switch!

家具職人

岩井 聖さん(26歳)

switch!

高1で就職活動

高校に入学してすぐ学校が嫌になりました。おとなしいクラスメイトたちと仲良くできなかったんです。でも学校をやめたら働かなくちゃいけない。そこで家具職人になろうと。ふすまや障子といった建具は「格子の線がキレイだな」と中学生の頃から興味があったので、タウンページで近所の木工所を調べて「見学させてください」と電話しました。でも見学に行くと「何歳?」「高校は出たほうがいいよ」と諭されてしまう。5社で同じことを言われてあきらめました。

switch!

1週間悩んで決意

進路のことは高3の春にもう一度悩みました。木工作家のインタビュー記事などを読むと、美大や芸大を出て訓練校に行った人が多いですね。僕も大学進学をめざすか、すぐに訓練校に行くか。さらにその先どう生きていきたいか。もう学校も行かず食事もろくにせず、1週間、部屋にこもって悩んで、最終的に訓練校に行くなら今

行こうと決めました。

でも正直「大学へ行ったほうがよかったのではないかと」ずっと悩んでいました。世間では高卒と大卒で線引きすることもあるし、4年間、木工だけに向かうのと違う世界を見られたとも思うし。「オレもいろいろ学んできたんだ」と自信をもてるようになったのはつい最近のことです。

switch!

一人前までの長い道

卒業後はうちの会社に就職。規格品のパーツを100個、200個とつくるような仕事から始めました。掃除もよくさせられていましたね。今なら掃除の大切さがわかりますが、当時は「ものをつくるために入社したのに何だよ」と思っていました。4年目から徐々に特注家具を任されるようになり、「つくられる」から、自分が「つくる」という感覚になりましたが、じゃあ一人前かというところと違う気がしています。木工品には手がけた人の技術力が如実に表れる厳しさと面白さがあります。まだこれから長い道のりがあると思っています。

「すぐに働きたかった高校時代。タウンページを見て木工所に就職活動しました。」